

『道路見える化計画』について(1)

1. 『道路見える化計画』について

道路見える化計画のコンセプト

- ①道路の課題をデータできちんと把握します。
- ②解決を急ぐべきところから重点的に対策します。
- ③道路行政をもっと分かりやすく見える化します。

新しい道路行政マネジメントを実践する委員会

国民・道路ユーザー
(納税者)

道路行政部局
(関東地方整備局など)

道路見える化計画

課題が見える・やり方が変わる

計画 (PLAN)

交通安全・渋滞
見える化プランの策定

- 【今後計画していくもの】
- ・国道16号 梅の木交差点
- ・国道15号 大黒町入口交差点

実施 (DO)

交通安全・渋滞
見える化プランの実施

- 【事業中】
- ・国道 1号 原宿交差点
- ・国道16号 横浜町田立体 等

現場見える化プロジェクト

評価 (CHECK)

交通安全・渋滞見える化
プランの成果の見える化

- 【供用済み】
- ・国道246号 新石川立体
- ・国道 1号 小田原箱根道路

反映 (ACTION)

『道路見える化計画』について(2)

2. 要対策箇所の選定方法

①要因別の評価手法に基づく、要対策箇所を検討すべき範囲の特定

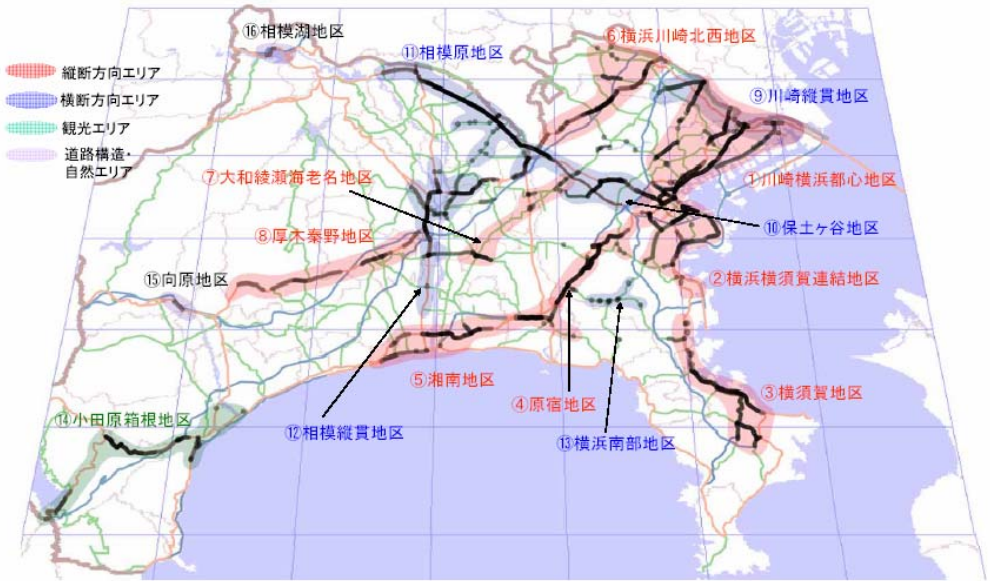
渋滞		道路構造	
渋滞損失時間が大きい	【指標】渋滞損失時間450人時/km/日以上 (※区間・方向・平日別損失時間の上位約1割に相当)	一般的に走行しづらい道路構造	【指標】道路管理者により以下の視点で抽出 ・道路が屈曲している ・曲線部に交差点がある ・車線数の増減が複雑 ・その他(直轄国道で高さ制限がある)など
旅行速度が低い	【指標】旅行速度10km/h未満 (※VICSIにおける渋滞の判定基準値に相当)	気象・自然条件	
渋滞する時間が長い	【指標】VICSIの渋滞時間1,000分/日以上 (※区間別渋滞時間の上位約1割に相当) ■ VICSIによる渋滞の定義: 旅行速度10km/h以下	降雨など異常気象により通行が規制	【指標】事前通行規制区間の内、 通行止が平均1回/年以上発生、かつ交通量が 14,000台/日以上(過去3年間H14~16) (※交通量14,000台/日は県内の地方道平均に相当)
渋滞する時間が長い	【指標】渋滞がひどいとの意見があった地点 ※資料・横浜環状北西線PIでいただいたご意見(横浜国道H16~17) ヨコハマの道路に関する意識調査業務報告書(横浜市H17)	災害	
最大の渋滞長・通過時間が長い	【指標】主要渋滞ポイントの定義に該当する ■ 主要渋滞ポイントの定義 ・DID地区内: 最大渋滞長500m以上or 最大通過時間5分以上 ・DID地区外: 最大渋滞長1,000m以上or 最大通過時間10分以上	災害により通行が規制	災害による通行止は過去3年間(H14~16)実績がないため指標から除く

分
詳
析
細

【移動性阻害要因】

抽出

県内の道路延長約20%の区間で移動性が阻害



移動性阻害エリア

【分析対象エリアの抽出】

②要対策地区・箇所の抽出

県内道路延長*の約5%の区間を厳選

※主要地方道以上を対象

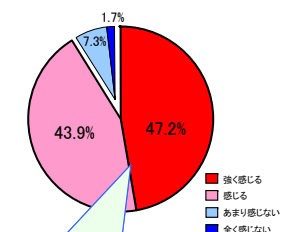
利用者
意見

③利用者アンケートの実施

各地区・箇所とも
阻害と感じる方が7割以上

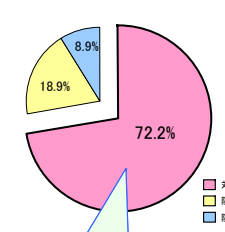
13地区34箇所のアンケート結果を合計すると

移動性が阻害されていると感じるか



約9割が「移動性が阻害されている」と感じるとう答

対策が必要と感じるか



約7割が「対策が必要」と回答

利用者意見
の反映

④要対策地区・箇所の選定

13地区34箇所を選定

『道路見える化計画』について(3)

3. 要対策エリア・箇所

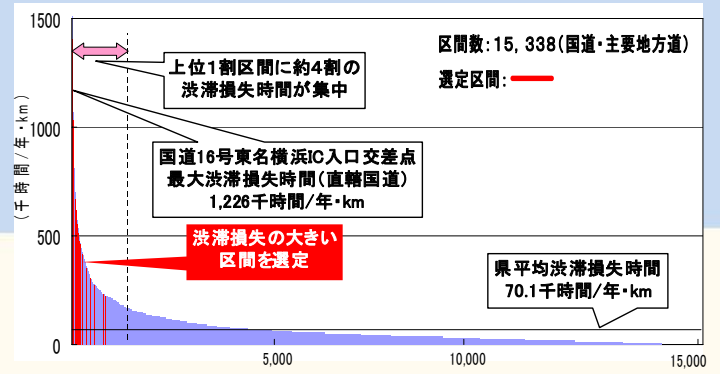
要対策箇所は学識者や道路利用者の代表からなる委員会での助言を受けて選定しています。



要対策箇所として選定された13地区34箇所

番号	地区・路線名	箇所	阻害要因
1 川崎横浜都心地区			
1-1	国道1号	多摩川大橋～下末吉交差点	渋滞
1-2	国道1号	浜松町交差点	渋滞
1-3	国道15号	大黒町入口交差点	渋滞
1-4	国道15号	栄町交差点	道路構造
1-5	(主)東京丸子横浜線	綱島交差点	渋滞
1-6	(主)東京丸子横浜線	大豆戸交差点	渋滞
1-7	(主)東京大師横浜線	京急大師線踏切付近	道路構造
1-8	(主)横浜生田線	浅間下交差点～岡野交差点	渋滞
1-9	国道1号	保土ヶ谷橋交差点	渋滞
1-10	国道1号	不動坂交差点	渋滞
2 横浜横須賀連結地区			
2-1	国道16号	青砥坂交差点～杉田交差点	渋滞
3 横須賀地区			
3-1	国道16号	吉倉町～追浜町	道路構造
3-2	(主)横須賀三崎線	衣笠十字路交差点	渋滞
4 原宿地区			
4-1	国道1号	原宿交差点	渋滞
5 湘南地区			
5-1	国道1号	工業団地入口交差点	渋滞
6 横浜川崎北西地区			
6-1	国道246号	新石川交差点～江田駅東交差点～市ヶ尾交差点	渋滞
7 厚木秦野地区			
7-1	国道246号	市役所入口交差点～桜坂交差点	渋滞
8 川崎縦貫地区			
8-1	国道409号	京急大師線踏切付近	渋滞
9 保土ヶ谷地区			
9-1	国道16号	梅の木交差点	渋滞
9-2	国道16号	東名横浜町田IC付近	渋滞
10 相模原地区			
10-1	国道16号	鶴野森交差点～若松2丁目交差点	渋滞
11 さがみ縦貫地区			
11-1	国道246号	金田交差点～文化会館入口交差点	渋滞
11-2	国道129号	国道246号交点～船子北谷交差点	渋滞
11-3	(主)町田厚木線	相模大橋東交差点	渋滞
12 横浜南部地区			
12-1	(主)原宿六浦線	笠間交差点	渋滞
13 小田原箱根地区			
13-1	国道1号	宮の下交差点	渋滞
13-2	国道135号	石橋IC(西湘BP)～早川口交差点	渋滞
13-3	国道255号	飯泉入口交差点	渋滞
14	国道20号	与瀬～吉野(通行規制区間)	自然災害
15	国道20号	藤野町中心部(吉野～小淵)	道路構造
16	国道467号	光ヶ丘交差点	渋滞
17	国道467号	桜ヶ丘交差点	渋滞
18	(主)横浜伊勢原線	用田交差点	渋滞
19	国道246号	向原	道路構造

【渋滞データの分析】渋滞損失時間が高い上位から抽出



利用者アンケートによると

- 非常に高い
- ↑ 移動性の障害感

4. 『道路見える化計画』の浸透について

【記者発表(H18.6.21)】

国土交通省 関東地方整備局

神奈川のみち 「道路見える化計画」を進めます

～道路行政の新たな取り組み～

記者発表資料

- ◎ 「道路見える化計画」について
 「道路見える化計画」とは、県民の皆様のご理解が得られるよう、道路の現状などを示す様々なデータから課題を「見える」ようにし、最適な方法で重点的かつ効率的に解決していくものです。
- ◎ 神奈川県内における取り組み
 「道路見える化計画」について、神奈川県内では以下の取り組みを進めています。
 - ① 渋滞見える化プラン
 「神奈川県移動性向上委員会」(委員長：横浜国立大学 教授 中村文彦)における審議及び道路利用者アンケートを踏まえて、一県内で移動性が阻害されている箇所として、13地区34箇所を選定し、今後は、対策の検討及び実施を進めます。
 - ② 交通安全見える化プラン
 「神奈川県安全性向上委員会」(委員長：横浜国立大学 助教 岡村敏之)における審議により、一県内で交通安全対策が必要な箇所のうち、解決を急ぐべき15箇所を選定し、道路利用者アンケートを踏まえ、対策案を立案し、今後は、安全対策を実施し、対策効果をフォローアップしていきます。
 - ③ 現場見える化プロジェクト
 道路事業の最前線である工事現場において、「この工事は何の目的で、何を改善するのか」など、国民や道路ユーザーが知りたいことを分かりやすく「見える看板」の設置に取り組みます。
- ◎ 今後の道路行政の進め方について
 「道路見える化計画」の各プロジェクトに基づき、道路の課題・解決策を県民の皆様へ「見える」ようにし、成果を重視したより効率的な道路行政を進めてまいります。

道路見える化計画

平成18年6月21日
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ			
竹芝記者クラブ	神奈川建設記者会	神奈川県政記者クラブ	横浜商記者クラブ
横浜市記者会	横浜ラジオ・テレビ記者会	川崎記者クラブ	
問い合わせ先			
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所			
副所長	眞谷 克二		
計画課長	菅 将 実	TEL. 045-316-3530(直通)	

【新聞記事】

交通渋滞対策 最優先は原宿交差点

横浜国道事務所 利用者にアンケート

「道路見える化計画」の第一歩として、東急東横線「原宿」駅周辺の交通渋滞を顕微鏡で捉えて、神奈川県内の道路の現状などを示す様々なデータから課題を「見える」ようにし、最適な方法で重点的かつ効率的に解決していく。これが「道路見える化計画」の狙いである。神奈川県内では以下の取り組みを進めている。①渋滞見える化プラン②交通安全見える化プラン③現場見える化プロジェクト

「道路見える化計画」とは、県民の皆様のご理解が得られるよう、道路の現状などを示す様々なデータから課題を「見える」ようにし、最適な方法で重点的かつ効率的に解決していくものです。

「神奈川県移動性向上委員会」(委員長：横浜国立大学 教授 中村文彦)における審議及び道路利用者アンケートを踏まえて、一県内で移動性が阻害されている箇所として、13地区34箇所を選定し、今後は、対策の検討及び実施を進めます。

「神奈川県安全性向上委員会」(委員長：横浜国立大学 助教 岡村敏之)における審議により、一県内で交通安全対策が必要な箇所のうち、解決を急ぐべき15箇所を選定し、道路利用者アンケートを踏まえ、対策案を立案し、今後は、安全対策を実施し、対策効果をフォローアップしていきます。

道路事業の最前線である工事現場において、「この工事は何の目的で、何を改善するのか」など、国民や道路ユーザーが知りたいことを分かりやすく「見える看板」の設置に取り組みます。

道路の混雑状況 HPで公開

国土交通省横浜国道事務所は、県内の道路の渋滞や交通事故の発生状況、東京、大阪に次いで全国ワースト3の道路利用者の差点を調査し、移動性向上委員会(委員長：横浜国立大学 教授 中村文彦)における審議及び道路利用者アンケートを踏まえて、一県内で交通安全対策が必要な箇所として、13地区34箇所を選定し、今後は、対策の検討及び実施を進めます。

「道路見える化計画」とは、県民の皆様のご理解が得られるよう、道路の現状などを示す様々なデータから課題を「見える」ようにし、最適な方法で重点的かつ効率的に解決していくものです。

「神奈川県移動性向上委員会」(委員長：横浜国立大学 教授 中村文彦)における審議及び道路利用者アンケートを踏まえて、一県内で移動性が阻害されている箇所として、13地区34箇所を選定し、今後は、対策の検討及び実施を進めます。

「神奈川県安全性向上委員会」(委員長：横浜国立大学 助教 岡村敏之)における審議により、一県内で交通安全対策が必要な箇所のうち、解決を急ぐべき15箇所を選定し、道路利用者アンケートを踏まえ、対策案を立案し、今後は、安全対策を実施し、対策効果をフォローアップしていきます。

産経新聞 H18.6.22

渋滞による損失時間の4割を占めていることも分かり、いつも渋滞している場所を改善すれば、イライラの解消効果は非常に大きいことが明らかになった。データをまとめた。特に危険な国道15号新川橋交差点、国道16号君ヶ崎交差点、国道1号横浜相模貨物駅前交差点など15地点をピックアップ。道路の改良の必要性を示した。特に危険な国道15号新川橋交差点、国道16号君ヶ崎交差点、国道1号横浜相模貨物駅前交差点など15地点をピックアップ。道路の改良の必要性を示した。

ホームページのアドレスは、www.kri.mlit.go.jp/yokohama/

建通新聞 H18.6.29

年度内にすべて着手

「道路見える化計画」の第一歩として、東急東横線「原宿」駅周辺の交通渋滞を顕微鏡で捉えて、神奈川県内の道路の現状などを示す様々なデータから課題を「見える」ようにし、最適な方法で重点的かつ効率的に解決していく。これが「道路見える化計画」の狙いである。神奈川県内では以下の取り組みを進めている。①渋滞見える化プラン②交通安全見える化プラン③現場見える化プロジェクト

【リーフレット(7種類)】



リーフレットの配布状況

自治体	アンケート ver	原宿区 ver	厚木桑野地区 ver	小田原箱根地区 ver	湘南地区 ver	相模原地区 ver	梅の木 ver
雲川町	○					○	
厚木市	○						
綾瀬市	○						
伊勢原市	○						
海老名市	○		○				
大塚町	○				○		
大井町	○						
小田原市	○			○			
開成町	○						
鎌倉市	○						
川崎市	○						
清川村	○						
相模原市	○					○	
座間市	○						
寒川町	○					○	
城山町	○						
逗子市	○						
茅ヶ崎市	○	○					
中井町	○						
二宮町	○						
箱根町	○						
茅野市	○			○			
葉山町	○						
平塚市	○						
藤沢市	○						
藤野町	○					○	
松田町	○						
真鶴町	○						
三浦市	○						
南足柄市	○						
山北町	○						
大和市	○					○	
溝河原町	○						
横須賀市	○						
横浜市	○						
神奈川県	○	○	○	○	○	○	○
合計部数	1080	240	650	300	420	300	60
個人配布	122	63	37	9	31	56	43
合計部数	1202	303	707	309	451	356	103